

足羽川ダム建設事業環境影響評価技術検討委員会

第3回鳥類部会

◎足羽川ダム建設事業環境影響評価技術検討委員会第3回鳥類部会が平成20年11月11日に福井県国際交流会館にて開催されました。

足羽川ダム工事事務所長挨拶



足羽川ダム工事事務所 川崎将生所長の挨拶

委員紹介



第3回鳥類部会では、鳥類を担当分野とされる4人の委員にご出席いただきました。

足羽川ダム建設事業環境影響評価技術検討委員会 鳥類部会 委員名簿

氏 名		現 職 等
松村 俊之	まつむら としゆき	福井県自然保護課 主任
久保上 宗次郎	くぼがみ そうじろう	猛禽類研究家
林 武雄	はやし たけお	日本鳥類保護連盟 理事
上木 泰男	うえき やすお	日本鳥類保護連盟 専門委員

第3回鳥類部会での審議骨子

I. 事務局からの報告

事務局より以下の事項が報告されました。

- ・ 工事計画の概要について
- ・ 鳥類（陸域）についての予測、保全措置の検討結果
- ・ 今後の予定

II. 委員からの主な意見

事務局からの報告に対する委員からの意見及び事務局回答は以下のとおりです。

指摘内容	事務局回答
・ 多数の鳥類やクマタカのつがいが確認されており、この地域の環境の多様性を反映していると考えられる。ダム事業による一時的な影響は考えられるが、周辺にも同様の環境が広がっていることから影響の程度としては問題ないと考えられる。	—
・ クマタカの営巣木の樹高の記録があれば記載しておくこと。今後、どのような樹林を保全していけばよいかわかる。	クマタカの営巣木の樹高についても整理し、別途ご報告する。
・ クマタカの繁殖成功率の高いつがいと低いつがいの環境を比較することで、保全すべき環境がどのようなものであるか、傾向が見えてくるかもしれない。	ご意見を踏まえ、比較検討を行う。
・ クマタカの行動圏がきれいに線引きされているが、現地での確認状況はどうであったか教えて欲しい。	現地での詳細な確認状況と行動圏の推定手法について、別途ご報告する。
・ 当該地域の近傍ではイヌワシが生息している地域がある。現地調査での詳細な観察状況、確認状況を教えて欲しい。	詳細な調査実施状況、確認状況等について、別途ご報告する。
・ 工事の実施によるクマタカ（5つがい）への影響に対する保全措置については問題ない。	—